



校長室だよ

# アイスの子

志布志市コミュニティースクール  
志布志市立香月小学校

令和2年9月25日(金) No. 10

香月小ホームページでも御覧いただけます

## 香月っ子のよさが輝く 運動会に！ ～心は一つ 赤組白組 勝利の旗をつかみとれ！～

いよいよ明後日は運動会本番です。今年のスローガン（目標）は「心は一つ 赤組白組 勝利の旗をつかみとれ！」です。白組応援団長の三浦凜太さんと赤組応援団長の境勇翔さんを中心に応援のチームワークもだんだんよくなりました。香月小児童が校訓である「強く 正しく 素直」に育っている姿に期待したいと思います。今年の運動会の改善点と新型コロナウイルス感染拡大防止策等についてお知らせします。



中央の1年生も整列が上手になりました

### 《改善点》

- 1年生が1学級のため担任の指導が行き渡るよう、赤と白の境となる中央に1年生が並んでいます。
- 午前中に全学年2種目ずつと紅白対抗リレー応援合戦など15種目を実施できるようきびきびとした行動で進行します。



### 《新型コロナウイルス感染拡大防止及び熱中症対策》

- 午前中の開催とし、観戦者は未就学児と1家族2名までの保護者に限らせていただきました。検温の上「出席確認票」を南門で御提出ください。
- 密をできるだけ避けるため、児童用テントを例年の6張りから10張りに増やし間隔を開けて座れるようにしています。また、編成所を設けず、テント前からの入場・退場を行います。
- テント内では原則としてマスクを着用しますが競技直後などきつい場合は個々の判断ではずします。
- 閉会式は、校歌を歌う（1番だけ）ため、原則としてマスクを着用します。紅白リレーの選手などきつい場合は外す場合もあります。
- 本部テントの密を避けるため児童の係は必要最小限に留め、種目の準備等は各学年単位で行います。
- 午前中開催ですので、後始末後、高学年児童ができるだけ早く下校できるよう万国旗は使いません。

### 《お願い》

- マスクの着用と水分補給のできる準備をお願いします。（暑さ対策をお願いします）
- 簡易椅子の持ち込みは自由ですが、トラック周辺での固定的な場所取りは御遠慮ください。みなさんが気持ちよく応援できるよう、種目ごとの入れ替わりに御協力ください。



## 子育ての「7つのこつ」

家庭教育研究家の田宮由美先生は、「親の役目は子供を自立させて社会へ送り出すこと」と述べています。学校たより9月号の巻頭言にも書きましたように、田宮先生の「子供が自立する育て方のこつ」で特に大事な7つのことについて紹介いたします。

### 1 転ばぬ先の杖を出し過ぎない

子供は体験を通じて理解して習得していく。その中で失敗もし学んでいくこともある。転ばぬ先の杖を出し過保護にしすぎると、学びの機会を減らし自立しようとする子供の心を阻む。「失敗は自立していく過程」と考え見守っていきましょう。

### 2 物事を決定する機会を大事に

親はつい「宿題を済ませてから遊びなさい」「今日は傘を持って行きなさい」と言ってしまうがちであるが、親が判断して決定してしまうと責任も親に委ねてしまうようになりがち。決定は子供にさせましょう。小さなことから自分が決めたことに責任を持つようにすることで、自分の人生そのものにも責任を持って行ける子になる。

### 3 精神的に甘えてきたときは十分甘えさせる

幼い子供が精神的に親に甘えるときは何か心に不安を感じたとき。このようなときに突き放すと親に受け入れてもらえないと感じいつまでも自立しようとしなくなる。寂しさや不安を受け止めてあげることが大切。



### 4 金銭的、物質的な要求には約束を決める

子供の「買って!」という物質的な欲求を全て満たしているとエスカレートする。やがて心が満たされないと物やお金で心を満たそうとしどれだけあっても満たされない心が自立を阻む。お菓子なら「今日は1個だけね」おもちゃなら「次の誕生日にね」と約束したりお小遣いは定額を自分で計画を立てて使うことなどを教えましょう。

### 5 待つことや我慢する力を育む

社会や集団では、主張を引いたり意志を押さえたりする場面はたくさんある。待つことや我慢する力を培っておくことが大事。ただし、無理強いする我慢ではなく、自らの意志で自己制御の我慢であることが大事。

### 6 失敗しても温かく受け入れる

子供より人生経験豊富な親は子供の失敗を予測でき歯がゆく感じることもあるでしょう。「よくがんばったね。次はきつとうまくいくよ。」と失敗した子供の心を温かく受け入れることで子供の心は強くなりさらに自己の向上を目指すようになる。

### 7 感謝の言葉やあいさつの習慣をつける

「ありがとう」「おはよう」「いただきます」などの言葉は家庭ではつい省略しがちでは?笑顔でのあいさつは無条件で相手を受け入れ肯定する言葉。親が手本を見せ習慣化することが大事。

